

市政 おおの

54. 8. 1

No.303



全国サッカー優勝ヘシュート



はばたけ
大野健児



「ファイト、ファイト、ファイト！」きょうも有終西小学校グラウンドには元気な声が響き渡る。

無心にボールを追っかける大野サッカースポーツ少年団の仲間。どのユニホームもドロコ、顔には玉のような汗が流れています。

昭和44年7月に結成されてことして10年。現在会員も43人になり、この春は福井県少年サッカーリーグ、日本

少年サッカー福井県大会で見事優勝しました。

キャプテンの牛島敬明君（有西小6）は「練習は厳しくてつらいけど、みんなで力を合わせいい試合をして勝ったときが一番うれしい。サッカーはこれからも続けます」と息をはずませていました。このチームは7月31日～8月4日、東京読売ランドで開かれている第3回全日本少年サッカー大会に出場しています。

待っていました踊りっ子

おおの城まつり 開 幕



右、おおのおどりを楽しむ市民（昨年（昭和53年）の六間大通りで）
左、涼味いっぱいのポスター

いよいよお待ちかねの「おおの城まつり」の開幕です。

1～16日の間は市街地8会場で踊りっ子待望の「越前おおのおどり」が行われます。

「シッコイナ」「大野音頭」「御前おどり」「カンコおどり」の郷土民謡の調べがあなたを魅了することでしょう。

期間中多彩な行事

15日の午後は奥越太鼓保存会による流し打ち太鼓、16日の午後は市内4中学校生徒の吹奏楽パレードと演奏会、大野市民吹奏楽団によるバンド演奏会があります。

一方、越前大野城では「社寺秘宝展」が13日～16日の4日間開かれ、寺宝の数々が展示されます。

スマイル

油汗ならたくさん
出るんだけどな
××国

その他、期間中には多彩な協賛行事が各所で繰り広げられ、私たちが楽しませてくれます。

詳しい内容は各家庭へお届けしてある日程表のとおりです。

ご家族おそろいでご参加下さい。

市助役に大森次左エ門氏

「福祉向上に努力したい」とあいさつ

臨時市議会が7月9日開催され、田島前助役の任期満了の後欠員とな

農業委員会役員決まる

会長に伊東敬一郎氏

改選後最初の農業委員会が7月4日開かれ、役員に次の方が決まりました。（敬称略）

〈会長〉伊東敬一郎（猪島）〈副会長〉山村市太郎（上野）〈農地専門委員長〉猪島高（篠座）〈同副委員長〉下島薫（木本）〈農政専門委員長〉橋本祝男（友兼）〈同副委員長〉斉藤甚右エ門（大矢戸）〈県農業会議員〉田中新一郎（美里町）

っていた助役に、大森次左エ門氏が選任されました。

同助役は市議会では「大野市助役として住民の福祉向上と市政発展のために努力したい」

とあいさつしました。任期は昭和54年7月10日から昭和58年7月9日までです。

大森氏は昭和17年2月福井県事務吏員を皮切りに職員厚生課長、農業経済課長、企画調整課長、福井臨工建設事務所長、人事委員会事務局長を経て昭和53年4月から厚生部長を務められました。



医療問題を調査研究

「地域医療協議会」が発足

地域医療に関する調査研究を行い医療の向上と市民の健康保持をさらに増進させるために、市は7月1日「大野市地域医療協議会」を設置しました。

この協議会は12人の委員で構成し委員は市議会議員、市医師会員、市歯科医師会員、学識経験者の中から選ばれ、任期は2年です。

委員は次のとおりです。(敬称略)

会長 栃木広嗣(日吉町)

副会長 元文伊和男(高砂町)

委員 石蔵一郎(富島) 安田武雄(本町) 砂子三郎(本町) 西川文人(牛ヶ原) 広瀬龍輔(元町) 松田理一

(要町) 尾崎清治(明倫町) 長谷川貞夫(元町) 安土義雄(日吉町) 高塚太吉(大野保健所長)



ブナの原生林に囲まれた小池のキャンプ場

自然探索、白山登山にどうぞ

小池のキャンプ場使えます

昨年度から小池地区で建設が進められているキャンプ場がほとんど出来上がり、この夏から使用することが出来ます。

このキャンプ場は、自然公園整備事業として県が2カ年計画で進めているもので、広さは約4,000平方メートル、20張りのテントサイト、炊事舎、給水施設、便所などが完成しています。

ことしは約1,000万円を投じ、土地造成や管理棟が造られ、12月にはすべての建設が完了する予定です。

同地区は福井県側の白山登山口として知られているとともに、ブナの原生林の中を通り神秘的な「刈込池」を周遊することが出来る自然研究遊歩道(約4キロ)もあり、自然探索に最適です。

キャンプ場ご利用の方は市商工観光課(6-1111内線352)へ申し込み使用許可を得てください。

優良家庭130世帯を表彰

国保表彰基準が改正

市は8月1日、国民健康保険優良家庭に対し表彰状と記念品を贈りました。

表彰を受けたのは、日ごろ健康管

理に留意し、医療給付を受けず、しかも保険税を完納した130世帯です。

これまででは、それぞれの年数に応じて表彰していましたが、ことしか

らは表彰基準が1・3・5・10年間に改正されました。

3・5年間優良家庭は次のとおりです。(敬称略)

【5年間表彰】原重吉(幸町) 高田さだ系(森目)

【3年間表彰】松田きん(城町) 小島忠幸(日吉町) 多田継太郎(高砂町) 川岸良治(春日) 福田たま子(春日) 佐々木一馬(篠座) 原富士子(中津川) 野尻貞子(横枕) 清水憲夫(中荒井) 猪島ふさの(中荒井) 佐々木明(上舌) 清水清一郎(鍛掛) 広瀬恒夫(佐開) 村井善一(新田) 天池孝逸郎(伏石)

山ヶ鼻4号墳を発掘

大野の歴史を探る

市教委と県教委は7月24日から昨年に引き続いて、山ヶ鼻古墳（尾永見地係）発掘調査を始めました。

昨年は16基の古墳群中5号墳を調査した結果、割竹形木棺跡が確認され、短剣と矢じりの副葬品も発見されました。

同墳は北陸地方では敦賀市の立洞2号墳に次ぐ2基目という「帆立貝形前方後円墳」で4世期末ごろと推定され、当市の古墳128基の中では一番大きいものです。

ことは約250万円の経費で4号墳を調査することになっており、8月末には終わる予定です。

大野の歴史を探る上で貴重な結果

が得られるものと、関係者から期待されています。

発掘が進む4号墳
(手前小高い所)



上半期火災救急統計

火災は昨年より減少

大野地区消防本部はこの程、昭和54年上半期の火災救急統計をまとめ

ました。

これによると、火災8件、損害額692万円となっています。

これは昨年同期より3件、損害額で、3,032万円余り少なくなっており過去10年間の平均と比べても件数で2件、損害額は約2分の1に減少しています。

原因ではふろかまどの老朽化によるものが3件でトップ、あとは石油ストーブ、豆炭ごたつ、子供の火遊びなどとなっています。

これからもお互いに注意し火災ゼロを目指したいものです。

—救急—

依然多い交通事故

一方、救急は出動件数が180件と昨年同期より9件少なく、過去5カ年間の平均より8件余り減っています。

出動内訳では、急病62件、交通事故46件、一般負傷24件が目立ち、特に交通事故によるものは子供や青年層に多く、約半数を占めています。

出動時間は午前10—11時までが全体の10%と最も多く、1日のうちで気のゆるみがちな時間だと言えます。



⑬

東・西大月

庄林・太田を通して右に折れると、西大月です。かつてはこの道路が勝山街道だったために、東・西大月は交通の要所でもありました。

大野盆地がまだ湖だった大昔、集落は山の中腹にありましたが、大なだれで二手に分れて押し流されて、現在の東・西大月になったといわれています。山手には普通「大月の吉峰寺」と呼ばれている禪師峰寺（曹洞宗）があり、それに隣合わせて式内磐座神社があります。寺ははじめは山のもっと高い所にありましたが、現在の場所に移されてからは檀家があちこちに出来たそうです。

東・西大月はいずれも十数戸の集落ですが、太い柱を使ってどっしりとした構えの家が多く、土蔵



の家紋が目につきます。石田家の門は、下がり藤の家紋とともに竜や鶴亀、おきなのの彫刻は見事です。

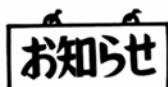
西大月には、弘法大師が教えられたという歯痛やはんこん痕を残さないでやけどをなおす秘法を伝える人がいるそうです。

赤根川をはさむ両大月は、古い歴史をもっています。寺には道元禪師が立寄られたそうです。現在は80数個の石段がありますが、昔の細い坂道が左手に残っていました。（T生）

受給権確保に最後のチャンス

国民年金特例納付実施中

国民年金に加入しなければならないのに加入しなかった人、あるいは加入していたが保険料を納め忘れていた人などいませんか。



◆身障者は有料道路料金が割引き

下肢、または体幹機能障害の人が自分で車（本人または家族の所有する車に限る）を運転し、有料道路を通行するときは料金が割引きになります（5割引き）

割引きとなるのは日本道路公団の管理する有料道路と、県内では越前海岸・久須夜ヶ岳・永平寺・河野村の各有料道路です。

手続きは印鑑、障害者手帳、運転免許証、車検証を持って市福祉事務所で行って下さい。

◆水難事故防止の心得

夏になると悲しい水の事故が多くなります。残念ですがことしも既に尊い生命が奪われています。

これからは台風のシーズンにもなりますので河川の増水も多くなります

いま国民年金では、過去（2年前）に納め忘れて時効になった期間を特例として納付出来る制度が実施されています。

納付保険料は1カ月当たり4,000円で、昭和55年6月30日まで有効です。

受給権を確保する最後のチャンスです。

あなたも思い違いがないかこの機会にご自分の年金をお確かめ下さい。

詳しくは市役所市民課年金係へどうぞ（6～1111内線265・266）

す。水難事故を未然に防ぐため次のことに注意して下さい。

○指定された場所以外で遊んだり泳いだりしない。

○河川増水時および台風時には、ダムから放流することがあるので川に入らない。

○警報サイレンが鳴ったらすぐに川から上がる。

○危険水域（立入禁止札指示箇所）には絶対入らない。

◆有利な雇用給付金制度

中高齢者、心身障害者、か婦などの雇用促進と改善を図るため、事業主に対して一定期間給付金が支給される有利な制度があります。

詳しくは、大野公共職業安定所（6-2408）か、市商工観光課（6-1111内線351）へお問い合わせ下さい。

◆文化祭テーマ決まる

第13回大野市総合文化祭実行委員会は、ことしの文化祭を10月26日～11月3日、市民会館を主会場に行うことを決めました。

テーマは「生かす伝統、限りなき創意」で、これに沿って絵画・写真工芸・書道・デザインその他の作品を募集します。

休日急患診療当番医

市報の市民カレンダーに記載されています。

あなたも今のうちから制作に心掛けて下さい。

◆福祉年金証書の提出を

老齢・障害福祉年金は、8月11日から郵便局で支払われます。

今回は証書を郵便局で預かることになっていますので、早めに支給を受けて証書を提出して下さい。

◆簡保写真コンクール作品募集

〈題 材〉簡易保険資金で造られた施設を題材とする明るい作品

〈作品の大きさ〉カラーはスライド35^{mm}以上、白黒は4つ切り、それぞれ5点以内

〈募集期間〉8月1日～10月31日

〈作品の受付〉各郵便局の保険窓口

◆アマチュア8^{mm}コンテスト

大野8^{mm}愛好会では、次のように“大野アマチュア8^{mm}コンテスト”を行います。

あなたも応募してみませんか。

〈応募資格〉市内在住の8^{mm}愛好者

〈題 材〉自由（15分以内）

〈締 切〉9月30日（日）

〈発 表〉11月3日（文化祭）

〈提出先〉市内カメラ店

〈問い合わせ先〉大野8^{mm}愛好会事務所（水口隆6-2195）

◆生活用品交換情報

〈譲ります〉玄関戸、子供用ベッド、乳母車、幼児用組立ベッド、ダブルベッド、ストーブ、足踏みミシン、白黒テレビ、毛糸編機、ヘアドライアー、電気がま、スキーぐつ

〈譲って下さい〉畳、玄関戸、冷凍冷蔵庫、9^{mm}映写機、本だな、電気オルガン、子供用自転車、ソファ、子供用組立ベッド、男子用自転車、ステレオ、サイクリング用自転車、カメラ、びょうぶ、シングルベッド

今月の納税

市・県民税 第2期分

31日までに納めて下さい。

市民カレンダー

8月10日～8月24日

10金	子宮ガン検診 人権相談	13.30～14.30 10.00～15.00	上庄公民館 上庄公民館
11土			
12日			当番医 内科 杉山医院 外科 尾崎整形外科病院
13月	金融相談 法律相談	13.00～16.00 13.00～16.00	商工会議所 〃
14火	少年相談 交通事故相談	9.00～12.00 10.00～16.00	市役所 〃
15水	終戦記念日 少年相談	9.00～12.00	市役所
16木	少年相談	9.00～12.00	市役所
17金	経営相談	13.00～16.00	商工会議所
18土	農業結婚相談	13.30～16.00	有終会館
19日	家庭の日		当番医 内科 高井医院(稲郷) 外科 松田外科医院
20月	労務相談 胃検診	13.00～16.00 9.00～11.00	商工会議所 有終会館
21火	少年相談 1歳半児検診	9.00～12.00 13.00～14.00	市役所 有終会館
22水	社会保険年金相談 結婚相談	10.00～15.00 10.00～15.00	大野織物工業組合 有終会館
23木	胃検診 少年相談	9.00～11.00 9.00～12.00	有終会館 市役所
24金	処暑 胃検診	9.00～11.00	上庄公民館

発行 福井県大野市 編集 秘書広報課
印刷 松浦印刷
(電話) ⑥1111



紫紺色のつやつやしたハダを光らせて店頭に並ぶナス。花が咲いたらすべて実がなるといふ▼古人

いわく「親の意見とナスビの花は千に一つもあだはない」親の意見もナスビの花同様、むだがないと伝えられてきた▼ところが、近年親の意見もむだが多くなったせいか、それとも御利益がなくなつたためかさっぱり効き目が無い▼七月のある日の某紙に「落とせ、カミナリ」の見出しで「少年の非行防止は家庭のしつけが大切」と報道、子どものしかり方を教えたパンフレットの紹介が載つていた。地震、カミナリ火事、おやじといえは怖いものの総称だ▼青少年犯罪の急増、まして夏はいろいろな犯罪が多い季節。「落とせ、カミナリ」で、世の親にしつけの大切さを訴えたのであろう▼カミナリといえは夏の風物詩、だが家のカミナリは必要以上に落ちたのではたまつたもんではない。試験勉強中マンガを読んでいた父親にカミナリを落とされ、カッとなつた高校三年の息子に刺し殺されるという痛ましい事件も起きた▼おどかしやカミナリでしつけが出来るものではない。大切なのは親の態度だ。親としての考え、人としての生き方に立つて戒しめ、子どもなりの生き方を身につけさせるようにすること。それが親の意見なのだ▼シウルシウルと燃える線香花火のようなはかない親子の対話ではなく、必ず実を結ぶ意見であるようお願いしてやまない。

Y 生

あなたの
わたしの
意見の
声

若者が喜んで 住めるまちに

市は大野市の基本構想を作るため6月に20歳以上の市民 1,500人を対象にアンケート調査をしました。

その結果「大野は住みやすい」「工場を誘致して若者の流出を防ぐべきだ」「公的な病院がほしい」

などの意見が多く出されており、市は10月までにこの結果を生かして基本構想を作る計画です。

今回、この調査結果を「住民アンケート調査特集」にしてみなさんにお知らせいたします。なおご協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

住民アンケート調査特集

この調査は対象者を選挙人名簿によって等間隔抽出法で選び、1,454人（回収率96.9%）から回答をいただきました。「大野の住み良さ」「市の発展を妨げている原因」「地域開発と環境保全」「市民の声と市政」「今後力を入れていかなければならない事業」の5項目に大別してその概要をご紹介します。

〈住み良さ〉

10人中9人までが大野はよいところ



大野市は住みやすいですかの問いでは、表1のとおり「住みやすい」88.7% 「住みにくい」10.3%であり10人中9人までが大野を愛し好感を持っていることがわかります。

特に20代と60代以上の人から「住みやすい」という意見が多く出されています。

では、市民は大野のどういう点を

良いと感じ、反対に悪いと思っているのでしょうか。上位5つの意見を列記したのが表2です。

良い点では「空気や水がきれいで公害が少ない」「人情味がある」など自然環境や市民性が挙げられており悪い点では「医療施設の未整備」「職場が少ない」など生活環境施設の未整備が指摘されています。

表 1 大野の住み良さ

性 別	項 目	住みやすい	住みやすい とどちらか	住みにくい とどちらか	い 住みにく	そ の 他	計
		%	%	%	%	%	%
	20 歳 代	20.7	69.5	7.3	2.0	0.5	100
	30 "	12.8	71.3	13.1	1.7	1.1	100
	40 "	16.9	71.4	9.3	1.7	0.7	100
	50 "	23.0	65.7	8.0	1.3	2.0	100
	60 歳 以 上	26.6	66.8	4.5	0.8	1.3	100
	不 明	6.3	78.1	6.3	6.3	3.0	100
	全 体	19.4	69.3	8.6	1.7	1.0	100



表 2 大野の良い点

(地区別上位5位まで)

項 目 \ 居 住 地 別	大 野 地 区	市 下 街 庄 地 区 の	農 村 部 地 区 の	乾 側 地 区	小 山 地 区	上 庄 地 区	富 田 地 区	阪 谷 地 区	五 箇 地 区	全 体
公害が少なく空気や水がきれいで騒音も少ない	25.5%	24.8%	25.6%	26.9%	20.0%	26.3%	22.8%	20.0%	24.0%	24.8%
住んでいる人々が親切で、人情味がある	21.6	22.3	22.6	20.2	22.9	22.1	24.7	24.4	28.0	22.4
交通事故・犯罪などが少なく、安心して生活出来る	19.8	22.5	21.5	21.8	21.8	21.9	21.9	22.0	24.0	21.0
災害が少ない	9.3	8.3	7.4	3.4	7.6	5.9	6.4	5.9	4.0	7.8
公園や緑地が多い	5.7	4.3	7.0	8.4	10.0	7.9	9.4	11.2	8.0	6.9

表 2 大野の悪い点

(地区別上位5位まで)

項 目	大 野 地 区	市 下 街 庄 地 区 の	農 村 部 地 区 の	乾 側 地 区	小 山 地 区	上 庄 地 区	富 田 地 区	阪 谷 地 区	五 箇 地 区	全 体
病院などの医療施設が整備されていない	26.3%	26.8%	26.0%	25.5%	32.5%	29.6%	27.1%	33.0%	29.6%	27.4%
雪のため冬の生活が不便だ	20.2	19.2	19.9	21.7	17.8	17.7	16.6	21.5	25.9	19.7
働きがいのある良い職場が少ない	14.3	14.5	15.2	18.9	14.7	11.7	12.9	12.0	25.9	14.0
文化・スポーツ・レジャー施設が整備されていない	10.7	10.4	10.8	4.7	8.6	8.4	9.4	8.6	3.7	9.8
道路・交通の便が悪い	8.4	8.8	5.8	10.4	7.4	5.1	7.7	7.2	3.7	7.8

〈発展を妨げるもの〉

職場の不足と雪

道路整備に強い要望

大野市の発展を妨げてきた原因では、表3のとおり「職場の不足」と「雪による気象条件の悪さ」が2大要因として指摘されています。

市民生活に大きな影響を与えている雪害では「除雪が大変だ」35.3%「道路状況が悪い」30.5%「仕事がなく困る」13.3%で、雪に悩まされない大野にするため、道路の整備とともに職場の確保が強く望まれています。

さらに、市民の買い物動向をみると、日常の買い物先は「大野市内の商店街」70%「近所の店」25.5%で

全体の95.5%を占めていますが、大きい買い物は「大野市内」78.7%「福井市内」17.7%と福井市内での買い物比率が高くなっているのが目立ちます。



表 3 発展を妨げる原因 (年代別上位5位まで)

年代別 \ 項 目	不足している魅力ある職場が	若い者が出てしま	大きな気象条件に左右されるところが	足している活環境施設が不	医療・福祉・生活環境が乏しい	住民の発展への
20 歳 代	34.0%	9.7%	9.5%	9.5%	9.3%	
30 〃	31.5	10.8	11.5	11.1	9.3	
40 〃	35.2	10.4	12.6	10.5	8.4	
50 〃	30.9	15.0	13.4	9.3	9.3	
60 歳 以 上	26.5	16.0	13.6	10.7	10.2	
全 体	31.8	12.3	12.1	10.2	9.4	

生活の便利さ
 豊かさを優先
 地域開発か環境保全か

地域開発と環境保全の問題では、表4のとおり「自然の保護や文化財の保存よりも開発を進めるべきだ」51.5% 「どちらかといえば自然の

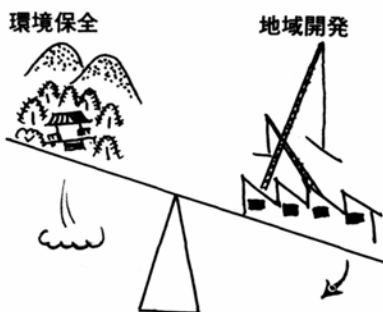


表 5 将来の中核産業は

項 目	農 林 業	工 業	商 業	観 光	わ か ら な い	不 明	計
職 業 別							
農林業を営んでいる	28.6%	42.5%	2.9%	7.3%	14.3%	4.4%	100%
商工業・サービス業 自由業などを営んで る	15.9	47.2	8.9	14.4	9.2	4.4	100
会社・工場・商店な どに勤めている	14.7	49.8	4.7	12.1	14.4	4.3	100
学校及び官公庁に勤 めている	28.0	39.0	5.9	12.7	12.7	1.7	100
主 婦	23.5	38.1	5.3	10.6	18.6	3.9	100
無職（主婦を除く）	16.8	35.6	7.9	13.9	21.8	4.0	100
全 体	20.5	44.0	5.5	11.8	14.2	4.0	100

表 4 地域開発か環境保全か

年 代 別	項 目	え ど ち ら か と い え ば B が よ い	B が よ い	え ど ち ら か と い え ば A が よ い	A が よ い	え ど ち ら と も い え な い	不 明	計
20 歳 代		26.4%	20.7%	20.7%	13.8%	16.7%	1.7%	100%
30	〃	26.3	23.9	21.8	11.4	15.2	1.4	100
40	〃	28.0	28.6	12.5	14.3	15.5	1.1	100
50	〃	28.3	28.0	16.7	14.3	9.3	3.4	100
60 歳 以 上		23.4	20.1	18.9	20.1	12.7	4.8	100
全 体		26.8	24.7	17.5	14.9	13.7	2.4	100

A 美しい自然や文化財はかけがいのないものだから、開発より自然の保護、保存を優先させるべきだ。
 B 生活の便利さ、経済の豊かさ、地域全体の活気を高めるためには、道路や施設を造ったり、住宅団地・工場団地を造成したりする開発を進めるべきだ。

保護や文化財の保存を優先すべきだ」32.4%となっており、市民は環境保全よりも開発優先を強く望んでいます。

この傾向は将来の大野市の中核産業として何を選びますかの設問結果（表5）にも現れており「工業」が44%と高率です。

さらに、市の将来の発展のため、先行して何に用地を確保すべきですかの問いに対しては、工業用地30.9% 道路用地 18.7% 学校・公民館

運動場等17%という結果が出ており「将来の市の発展のためには地域開発と工業化を強力に進めるべきだ」という意見が大半を占めています。

次に工場誘致についてどう思いますかの問いでは、表6のとおり「賛成」68% 「反対」7.2%あり、業種では「何んでもよい」49.5% 「電気機械関係」15.0% 「繊維関係」14.5%で、市民はゆとりのある都市活気のある都市を目指し、雇用の場の拡大を強く望んでいます。



大野市の動脈国道158号線



活発な話し合いが行われる市政広聴会

表 6 工場誘致の是非

職 業 別	賛 成	反 対	わ か ら な い	不 明	計
農林業を営んでいる	74.7%	1.8%	16.8%	6.7%	100%
商工業・サービス業・自由業などを営んでいる	70.8	6.3	17.7	5.2	100
会社・工場・商店・などに勤めている	71.2	7.2	17.7	3.9	100
学校及び官公庁に勤めている	68.6	11.9	17.8	1.7	100
主 婦	54.9	11.5	31.4	2.2	100
無職（主婦を除く）	56.4	5.9	30.7	7.0	100
全 体	68.0	7.2	20.4	4.4	100

〈市民と市政〉

声の反映いま一歩 投書箱を設けたら

市民は市政の動きを「市報・回覧板」78.5% 「新聞」 8.9% 「区の集会」 6.9%の方法で知るといふ結果が出ています。

一方、市民の声が市政に反映していると思いますかの問いでは、表7のように「反映されていない」43.3% 「まあ、反映されている」38.9%で、若年層ほど「反映されていない」とみる傾向が強くなっており、市民の声を市政に反映させる方法と

しては「市民の声の箱を各区に設置する」60.6% 「広聴会を多く開く」21% 「市民相談の日を設置する」16.6%などが挙げられ市民の要望を聞く機会をより多くすることが望まれています。これに対して、市民の市政への協力度は表8

のとおり、公共施設を造るために金銭的な負担がかかる場合でも89%の人が「協力する」と答えています。

「市民の声を市政に反映させる方法」「市民の協力度」の2つの意見は今後のまちづくりの大きな力となるでしょう。



表 7 市民の声の市政への反映

項 目	あ ま り 反 映 さ れ て い な い	ま あ ま あ 反 映 さ れ て い る	わ か ら な い	全 く 反 映 さ れ て い な い	反 映 さ れ て い る	不 明	計
年 代 別							
20 歳 代	44.3%	27.6%	18.3%	5.7%	2.4%	1.7%	100%
30 〃	39.8	30.8	18.0	7.3	3.1	1.0	100
40 〃	39.9	37.6	13.7	5.8	2.0	1.0	100
50 〃	35.3	40.3	16.0	3.0	4.7	0.7	100
60歳以上	29.9	37.3	18.0	4.9	6.6	3.3	100
全 体	37.9	35.3	16.4	5.4	3.6	1.4	100

表 8 市政への市民の協力(金銭を負担する場合)

項 目	多 少 は 協 力 す る	積 極 的 に 協 力 す る	全 く 協 力 し な い	不 明	計
年 代 別					
20 歳 代	80.1%	8.5%	7.3%	4.1%	100%
30 〃	80.6	11.1	5.2	3.1	100
40 〃	77.8	12.5	4.1	5.6	100
50 〃	69.3	17.0	5.7	8.0	100
60歳以上	69.7	17.6	3.3	9.4	100
全 体	75.5	13.5	5.0	6.0	100

雪害の悪条件克服
工場誘致を重点に
〈今後の力点事業〉

今後5～10年の間にどの事業に力を入れていくべきでしょうかの問いでは、表10のとおり「医療施設・制度の充実」17.1% 「雪害対策」10.8% 「上・下水道」9.7% 「工場誘致」8.4% 「大規模開発」7.9%となっています。

この傾向は前記の「大野市の悪い

表 9 生活用水路について

地区別	生活用水が汚染されている	生活用水路がない	水量が少ない	改良されていない	不明	計
大野地区	19.7%	32.6%	21.5%	13.6%	12.6%	100%
下庄地区の市街地	20.0	34.4	17.5	11.3	16.8	100
下庄地区の農村部	47.6	10.7	18.4	12.6	10.7	100
乾側地区	11.9	26.2	42.9	14.3	4.7	100
小山地区	15.9	23.8	23.8	22.2	14.3	100
上庄地区	38.6	8.5	15.3	24.4	13.2	100
富田地区	34.6	14.6	17.7	19.2	13.9	100
阪谷地区	22.8	16.5	17.7	20.3	22.7	100
五箇地区	0.0	22.2	0.0	33.3	44.5	100
全体	25.2	24.9	20.3	16.0	13.6	100

点」「発展を妨げている原因」で指摘されている事項と符合し、現在の太野市の悪条件を克服しようとする市民の意識が強く現れています。

さらに、居住区内の生活環境施設として何が必要で
すかの問いに対しては「子供の遊び場」18.1% 「生



活道路の整備」11.0% 「防火用水消火せん」10.1% 「集会所」9.8% 「下水道」9.4%となっています。

ごみ処理については「現状では心配だ」が農村部で20%と高率でありし尿処理の実態では、水洗化が市街地で12%に達しています。

ごみ・し尿処理と関係深い水路の問題では、表9のとおり「生活用水が汚染している」が25.2%と高率を示しており、前記の上・下水道建設を望む声と符合しています。

表 10 今後、5～10年間に力を入れていかなければならない事業

地区別	医療施設、制度の充実	雪害対策	上・下水道	工場の誘致	高規格道路、ダム建設等の大規模開発	農林業、地場産業の育成	学校教育施設、制度の充実	福祉施設、制度の充実	自然環境の保全	社会教育、文化、体育施設の充実	広域的な地域開発	観光開発	交通安全施設の充実	消防、防災施設の充実	公園、緑地の整備充実	ゴミ処理施設の充実	娯楽施設の充実	公害対策	その他	計
大野地区	17.4%	10.4%	11.6%	7.9%	7.8%	3.7%	5.4%	4.6%	5.1%	3.6%	3.1%	3.8%	2.4%	2.3%	3.3%	1.6%	1.9%	1.9%	2.2%	100%
下庄地区の市街地	16.4	12.0	9.3	8.1	8.1	3.4	4.6	5.7	6.0	3.0	4.1	2.3	2.7	3.0	2.7	1.9	2.6	2.0	2.1	100
下庄地区の農村部	16.5	9.2	9.9	8.3	8.7	7.8	3.4	7.1	2.8	4.4	4.4	2.8	3.0	2.8	3.0	1.1	2.3	2.3	0.2	100
乾側地区	15.9	11.0	8.8	10.4	8.8	9.9	3.8	3.3	3.8	4.4	4.9	2.7	1.1	3.3	1.1	2.2	0.5	2.2	1.9	100
小山地区	15.8	13.7	9.3	9.6	8.2	7.9	6.2	2.7	3.8	4.1	3.4	2.1	5.2	1.4	2.7	1.0	1.0	1.0	0.9	100
上庄地区	18.3	11.4	7.1	8.5	7.9	9.6	6.3	4.3	2.8	2.9	3.8	2.3	3.9	2.5	1.0	3.7	1.5	1.0	1.2	100
富田地区	17.2	10.1	6.2	8.8	7.4	10.3	3.4	5.8	3.0	3.9	3.2	2.7	4.4	3.0	2.1	3.4	1.2	3.0	0.9	100
阪谷地区	16.0	10.8	7.1	8.9	6.5	8.6	6.5	6.8	2.2	3.4	4.6	3.1	4.6	4.3	1.2	3.1	1.5	0.6	0.2	100
五箇地区	20.0	15.0	7.5	7.5	7.5	12.5	2.5	7.5	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	100
全体	17.1	10.8	9.7	8.4	7.9	6.0	5.2	5.0	4.2	3.6	3.5	3.1	3.0	2.7	2.6	2.0	1.8	1.8	1.6	100

市政 おのおの お知らせ

54
8.15
8月号付録



開成中・有終東小にプール

市内初のアルミ工法

6月から建設工事が進められていた開成中学校と有終東小学校のプールがこの程完成しプール開きが行われました。開成中プールは

工費 3,420万円が投じられ、幅15m長さ25mで7コースがとれます。

特にこのプールは、市内で初めてアルミ工法を採用した近代的なもので、これまでより仕上がりがきれいで、管理も簡単に出来ます。

有終東小プールは、工費 2,550万円で、同じ工法を採用し幅10m、長さ25m、5コースがとれます。

当日は、待ちわびていたかっぱたちが早速初泳ぎを楽しんでいました。

市民カレンダー

8月25日～9月9日

25	土	スポーツ少年大会 10.00～22.00 奥越青少年の森				
26	日	スポーツ少年大会 6.00～14.00 奥越青少年の森 市民軟式庭球大会 9.00～17.00 市営テニスコート	休日当番医		内科 岩治医院 外科 栃木医院	
27	月	◆モミ乾燥機点検して火災防止 あと半月で稲の収穫が始まり 各農家ではモミ乾燥機が使われ ます。 毎年この時期に多くなるのが 乾燥機による事故です。 今のうちによく点検して、乾 燥機による火災や感電事故が起 きないように注意しましょう。				
28	火					少年相談 9.00～12.00 市役所
29	水					結婚相談 10.00～15.00 有終会館 少年相談 9.00～12.00 市役所
30	木					少年相談 9.00～12.00 市役所
31	金					
1	土	二百十日 防災の日				
2	日	休日当番医		内科 尾崎病院 外科 米野医院		
3	月	税務相談 10.00～16.00 商工会議所 経理相談 9.00～16.00 "	成人病検診 9.30～15.00	大野保健所		
4	火	経理相談 9.00～16.00 商工会議所 成人病検診 9.30～11.00 大野保健所	少年相談 9.00～12.00	市役所		
5	水	ハシカ予防接種 13.30～14.30 大野市医師会館 少年相談 9.00～12.00 市役所	結婚相談 10.00～15.00	有終会館		
6	木	満 月 成人病検診 9.30～15.00 市民会館 少年相談 9.00～12.00 市役所	市民憲章の輪を広げよう 市民憲章は市民みんなの声で す。一人一人が目標に向かって 実践しましょう。			
7	金	経営相談 13.00～16.00 商工会議所				
8	土	白 露				
9	日	休日当番医 内科 伊阪医院 外科 広瀬病院				

少年ソフトボール大会

3分団チームが優勝

第11回少年ソフトボール大会は、7月30・31日市民グラウンドで、約210人のチビッコ選手が参加して開かれました。

ことしは和泉村から「いずみチーム」が参加し、14チームとなりました。

連日炎天下での練習のため、どの選手もまっ黒に日焼け。目のさめるようなボールさばきに父兄たちは暑さを忘れて応援していました。

成績は次のとおりです。



優勝3分団チーム(大野)、次勝下庄クラブチーム(下庄)、3位春日ファイターズチーム(大野)、いずみチーム(和泉村)

◆調理員募集

調理員を次のとおり募集します。
 〈採用予定人員〉調理員、女子3人
 〈資格〉昭和24年4月2日～昭和36年4月1日に生まれた者で調理師の資格を有する者
 〈試験〉第1次試験 9月上旬
 第2次試験 9月中旬
 〈業務内容〉保育所・学校の給食調理員
 〈申し込み期日〉8月31日(金)
 〈申し込み方法〉申込書(市役所庶務課にある)履歴書(市販のもの、写真添付)調理師免許証写を提出

◆新成人体力テスト

来年成人式を迎える人(昭和34年4月2日～昭和35年4月1日生まれ)を対象に体力テストを行います。

奮ってご参加下さい。

〈日時〉8月23日(木)午前9時～午後6時

〈会場〉有終会館

〈種目〉体位、立幅とび、上体起こし、腕立て伏せ、時間往復走、5分間走など

〈服装〉運動の出来る服装、ズック着用のこと

〈参加申し込み〉対象者あて往復ハガキでお知らせしますから

8月17日までに住所、氏名電話番号を記入の上、市教委社会教育課へ申し込んで下さい。

◆全国消費実態調査にご協力を

ことしの9月から11月までの3ヵ月間にわたり、昭和54年度全国消費実態調査が全国的に実施されます。

この調査は、国民の暮らし向きを家計の面から総合的にとらえることをねらいとし、昭和34年から5年ごとに行われています。

調査では全国から抽出された約5万3千世帯に家計簿をつけていただくことになっていますので、調査員が皆様のお宅へうかがう折はご協力下さるようお願いいたします。

なお、統計調査は統計以外の目的には一切使用しません。

◆国民年金作文コンクール

国民年金制度創設20周年を記念して、次のように作文を募集します。

奮ってご応募下さい。

〈題材〉「私が考える年金」「私のおじいちゃん、おばあちゃんと年金」「我が家の年金」「年金のある暮らし」



など国民年金を内容とするもの

〈対象〉中学校生徒

〈応募方法〉400字詰原稿用紙2・3枚にまとめ、文末に学校名・学年性別・氏名を書いて、9月10日までに各学校へ提出して下さい。

◆交通事故無料相談

弁護士と専門の相談員が親身になってご相談に応じます。

〈時間〉平日 午前9時30分～午後4時30分

土曜 正午まで

〈弁護士相談日〉第2、第4火曜日 午後1～4時

〈場所〉社団法人 日本損害保険協会、福井自動車保険請求相談センター(福井市大手3-7-1、織協ビル5階 502号室 0776-22-3282)

◆市民軟式庭球大会

〈日時〉8月26日、午前9時から

〈会場〉市営テニスコート

〈資格〉大野市民であること

〈競技方法〉経験者、初心者に分けダブルス・個人戦(男女別)をトーナメント方式で行う

〈申し込み〉8月22日(水)までに市教育委員会体育課(6-1111内線 409)か市軟式庭球協会(天神町の高橋会計事務所内 5-5888)へ

◆保育講演会

〈日時〉9月3日(月)午後7時

〈会場〉有終会館

〈講師〉児童文化研究家

吉岡たすく氏

〈演題〉「私の見た幼児の世界」

◆落し主を探しています

5月下旬ごろ、市内高砂町で拾われた着物が、大野警察署で保管されています。

ウールの着物、かすりのアンサンブル、ゆかたなどで、いずれもタトウ(和紙製の着物入れ)に入っています。心当たりの方は大野警察署会計課まで連絡して下さい。